

オタクの

タルムード

聖典

「汝、己の『**脳内嫁**』に接するように他人に接しなさい」

ハードなアメリカビジネス界から身を引くことを決意し、目的もなく途方にくれていた時期に、私はこの偉大な言葉と師に出会った。

彼らは自らのことをラビと名乗った。

(ラビとはラテン語で「rabbi」といい、指導者や学者の意味を指すという)

彼らは言った。

「あなたと他人の価値観が違っていても、それを他人に押しつけることはできません。

それは例えるなら、ハルヒ派の人間が、ストパン命と言っている人物に、ハルヒ派に転向しろと強要しているようなものです」

ラビのさとしは驚くばかりの叡智にあふれ、それでいてオタクたちにわかりやすい内容で語られていた。

私は多くの時間を彼ら（ラビ）の元で暮らし、その偉大な知恵の片鱗を目の前で見聞きした。

これは、彼らが語った言葉を忠実に書き記した書である。

真実はどこにでもある。

つまり、オタクのリュックサックの中にすら、一欠片ぐらいはあるということだ。

政治家は国の行く末を読めない。

オタクは空気が読めない。

自信を持って衣装を着こなすコスプレイヤーに対して  
「それは何のコスプレですか？」と聞くのは、  
「あなたは今日、どんな柄のパンツをはいていますか？」  
と尋ねるぐらいに失礼な行為である。

沈黙せよ。

さすればネクラと思われるであろう。

己を語れ。

さすればでしゃばりなヤツだと思われるであろう。

喜んで他者に奢れ。

さすれば「何が目的なの？」と疎まれるであろう。

キモオタはどう行動しても無駄という事である。

「淫乱テディベア」という単語でググってしまった者は、

人生において負け組に入る。

スパルタの兵はその生涯の中で何百人もの敵兵を葬り去る。

現代のオタクはその生涯において、何百人ものアニメキャラに精を放つ。

前者は勇ましいが、後者は馬鹿らしい。



スパルタの兵は、その勇猛ぶりを褒め称えられ、歴史に記録され後世まで語り継がれた。

現代のオタクは、その性癖を警視庁のリストに記録され、要注意人物として警察の中で語り継がれる。

英雄は色を好む。

しかしオタクも色を好む。

男は誰でも同じだという事実がこれで証明された。

現役女子高生

「現役」と、つける時点で人として終わっている。

自分の長所に自信がない男が、女性に「素敵ですね」と言われたら警戒するのだ。

壺があなたを狙っている。

ハートマン軍曹のMAD動画は、サンボの売上げに寄与していると言えよう。

麻薬を打つのも、版画を買うのも、

正気に戻った時の虚しさという点では同じである。

子供とは生命の息吹そのものであり、その瑞々しい肉体は誰もが称えるものである。

子供は偉大な存在である。

しかしだからといって、世間につるぺた趣味が肯定されるわけではない。

21世紀初頭。

世のオタクたちは社会に溢れる膨大な価値観、思想、常識に翻弄されていた。

己の拠り所とするものを無くし、途方に暮れ、さまよっていた。

氾濫する萌コミックやエロゲー。日々発売される初回限定版やプレミアム商品。

オタクたちは、その精神的価値観も、知性も、財産も、全てが疲弊し窮地に立たされていた。

大黒柱のない家屋が激しい風雨に耐えられないように、己の拠り所とするものを持たないオタクたちは心の荒野をさまよっているも同然だった。

そんな混迷とした社会の中で、光として現れたのがラビ達であった。

彼らは質素な服に身を包んでいるが、その表情は穏やかで、その瞳には今まで見たこともないような深い知性の輝きを灯し、せせらぎのように語られる言葉は多くの聴衆の耳を捉えた。

この書が、私だけでなく、

世のオタクたちの導きの光となり、

問題解決の指針として役立ち、

人生をより気楽に生きられる活力剤になればと願っている。

2011/02/11

アメリカ ネバダ州にて

ファッコフ・ホワイト